

平成22年度第1回沼田市地域公共交通会議会議録

- 1 日 時 平成22年11月16日（火） 10時00分～11時10分
2 場 所 市役所北庁舎 3F第2会議室
3 出席者 林会長 他委員13名（別紙のとおり）
4 会議の概要

（1）「沼田市地域公共交通会議の設置について」

事務局より会議の目的及び設置要綱を説明し確認を得た。

- ・委員の任期は平成22年10月25日から平成24年10月24日までとなる。任期は2年間であるので、異動等があった場合は申し送りをされたい。
- ・会議録は市のホームページにて公開する。委員名も公開することを了承された。

（2）審議事項

- ・定足数については委員16名中、14名出席であり、会議は成立した。

1) 路線バスの見直しにおける運行形態、運行経路（案）について

事務局より岩本線・南郷線に係る運行形態及び運行経路について、市路線バスの現状・見直しの経過等を含めて会議資料等により説明。

見直し（案）の概要は次のとおり。

- ①各路線共通○運行車輛を小型バス(29人乗り)から普通車(ジャンボタクシーサイズ：10人乗り)に変更。

○土日祝日は運休。

- ②岩本線○上野入口～桜の木の運行を取りやめ、上野地区・屋形原町への運行を実施。

○国立病院入口～三軒屋の運行を取りやめ、沼田病院方面への運行を実施。

○運行本数は1日14便を10便に変更。

- ③南郷線○地域のニーズであった沼田病院方面への運行を実施。

○輪組地区への運行を実施。

○運行本数は1日10便を9便に変更。

- ④川田線○運行本数は1日5便で運行を再開。

○運行経路は、上川田地区から市街地（他の2路線同様沼田病院を含む）とする。

〈主な質疑応答〉

委員 車輛は小型（10人乗り）で対応可能とする根拠は？

事務局 乗降調査の結果、同時乗車人数は岩本線は1ヶ月で最大8名。南郷線は1ヶ月間で1便のみ11名乗車が見られただけであり、これは例外と考えられる。その便を除くと、9人乗車が1便見られた。岩本・南郷線共に小型車輛で対応可能であると判断した。川田は従来も同じサイズの車輛で運行していたため対応は可能。

委員 今回導入する車輛は「バス」と違い、乗車率が100%を超える乗車は認められない車輛である。実際に超えた場合の対応は？

事務局 乗車定員数を超えた場合は、追加車輛の運行について運送事業者と事前協議により対応する。

委員 新たな運行経路について、道幅が狭いところもあると思われるが、交通安全上の規制等については確認されているか？

事務局 狭い道に入っていくが、現行規制を守った上での走行は可能である。新たに沼田病院にバス停を設けるが、安全面を考慮し、病院の敷地内へのバス停設置を協議済みである。

委員 最近よく聞かれるデマンドバスの運行に関して他市の収支状況などはどうなのか。

- 委員 他地域の細かな収支状況は伏せさせていただく。デマンド運行では利用者のニーズが重要になる。地域により異なるが、利用者が伸びている地域もあるが、利用者数の増加と一緒にコストもかかるようになる。利用者がいない地域は全く運行がされていない状況もある。デマンドの特色として、利用者が増えすぎると運行に支障を来すという問題もある。また観光が絡む路線でのデマンド導入は注意が必要である。前年、沼田市内のバス路線を視察したが、地形的な特色などから今後バス停まで歩いて行けない利用者が出てくる可能性があり、デマンドを検討する必要も出てくるかもしれない。
- 委員 デマンドの導入に住民のニーズが重要であるので、導入には十分な調査を実施されたい。
- 委員 南郷線で朝の一番のみが、これまでと同じ時刻・経路にて運行されることについて説明を願いたい。
- 事務局 南郷線の朝の一番は列車通学の高校生を対象とした便であり、利根商業高校に行くためにはバスを利用した後に電車を利用しなければならない。電車とのアクセスを考えると、これまで通りの運行が適切であると判断した。
- 委員 岩本線で渋川市との接続がなくなることについて渋川市との協議は整っているものと判断してよろしいか
- 事務局 10月末に渋川市の担当者と協議している。渋川市においても今回の提案を受け入れる方向で検討を進めていただいている。

〈審議結果〉

質疑応答の後、見直し運行（案）を諮った結果、参加全委員、異議なしにより承認された。